

葛工!! ピンチ



令和元年 12月 20日 発行

★皆さまのスマホのディスプレイに、親指と人差し指を乗せ、二本の指で押し広げるように、画面の一部分を拡大することを、ピンチアウト (Pinchout) と呼びます。葛工の最近の話題やトリビアを、ピンチアウトするようにお伝えしたい、そんな思いで「葛工!! ピンチ」と名付けました。「葛工がピンチ (危機)」なわけではありませんから、どうぞご安心ください。勘違いなさいませぬよう、ご用心ご用心。 *a pinch of esprit*

2年生対象に、租税教室を開催しました!

今年の10月から消費税が10%に上がりました。その中で高校生も税制変更、無関心でいることができなくなりました。たとえばコンビニで食べものを買うとき、持ち帰る場合と、店内イートイン・コーナーで食べる場合とでは、価格にかかる税金が異なり、総額も違ってくることなど、その最たるものです。そこで2年生を対象に、東京税理士会・江戸川北支部より講師の先生方を10名お招きし、大事な大事な税金について、たっぷり勉強をしました。

当日のテーマは三つ。「税の意義・役割」「税から考える社会のしくみ」「財政の現状と今後の課題」。そのなかでも今回特に「税から考える社会のしくみ」を中心に、お話をいただきました。もしわれわれが、無人島でひとり暮らしをしているなら、税金など必要ありません。しかし人が集まり、社会が形成されていくと、道路や港など、みんなが共有して使えるものを造らなくてはなりません。そこでみんなが豊かに暮らすため、みんなにとって有意義な無料サービスをおこなえるようにするところに、税金 (=われわれがみんなのため、少しずつ出し合うお金) の意義があります。そのなかで印象に残った言葉が「みんなに役立つことを、みんなで決める」でした。難しい言葉でいえば、当事者意識でしょう。

租税教室は途中から、参加・体験型のワークショップへ移りました。クラスを6つの班に分け、班ごとに「欲しいもの」を班員からあげてもらい、そのなかで各班ひとつに「欲しいもの」をしぼる。クラスには6つの班がありますから、「欲しいもの」が6つになってしまいます。そこでこれをまたひとつにしぼる。

そういったワークショップを進めるなか、「ではそれを買うには、どうやってお金を集めればいいたろう?」。また「なるべく公平にお金を集めるには、どうすればいいたろう?」、そういったディスカッションを通して、租税の仕組みや特徴について、当事者意識を持って、学ぶことができました。

ここでクイズ、日本の主な税金って、何種類かご存知?

正解はこちら。財務省のHPに出てきます。↓

https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/a01.htm

みなさん、「**とん税**」ってご存知かな? (∞)



さて税金に関して最後に、トリビアな話を少しばかり。時代や場所が変わると、われわれの知らない税金が、いろいろ見つかるものです。今回この記事を書くため、いろいろ調べてみて、面白い話があったので項目だけ紹介します。紙幅も限られているので、興味があれば詳細は検索してください。

- 1, 江戸時代には「**犬税**」や「**鯨税**」なるものがあった。
- 2, 江戸時代の薩摩藩（いまの鹿児島県）では、**身長143センチ以上のひとに税金がかけられた。**
- 3, 明治時代には「**馬税**」「**うさぎ税（明治時代初期に7年間だけ存在した）**」というものがあった。
- 4, その昔ヨーロッパでは、「**窓枠税**」なるものがあった。
- 5, 戦前にはトランプやカルタ、麻雀に高額の税金がかけられたため、「**天正かるた**」というゲームは製造中止に追い込まれた。
- 6, レコード（もはや死語。分からない若い方は「昔のCD」とお考えください。しかしこれも。ネット配信の現代では。死語となりつつある?）に収録される曲は、歌謡曲か童謡かで、かかる税金が違った。もし歌謡曲であれば、当時の税制で売り上げ15%が税金でとられるが、童謡だと非課税。さて昭和50年、この判断に迷うレコードが発売された。「**およげ!たい焼きくん**」だ。これが「歌謡曲」とみなされれば、売り上げの15%である1億4000万円を、税金として払わなくてははいけない! 歌謡曲?童謡?でレコード会社と国税庁で大もめ。(これは最終的には「童謡」と認定されるのですが、その理由が笑えます) **いやあ、税の世界はディープだ!**